

・第1回目グループ会：5月25日（火）

「今ある資料（データ）の項目や表記を統一し、年度で比較できるように！」

- ・ 何をもって評価するか？その指標探し。（大学、院、学部・学科・専攻）
- ・ 美術学部、造形表現学部の一般入試に着目。（2000年度～2003年度ではなく、改組後の入試結果資料をすべて提出する）
- ・ どういう資料が学内にあるのか？（内部資料・外部資料含む）
- ・ 倍率など専門用語の定義を確認。

・第2回目グループ会：7月29日（木）

「資料を読みとるためには、専門的な外部者の意見も必要ではないか？」

- ・ グループ内で資料を検討（新たに既存のデータ以外の資料が提案される）
- ・ 入学と教育と卒業の結びつきについての検討
- ・ 広報活動や就職状況などの意見交換

・第3回目グループ会：10月7日（木）

「資料の統合整理のレベルだが、今までにない重要な評価基準の一つとなる」

- ・ 提出用報告書の確認

その他

グループ会以外に、グループ長岩倉先生と事務担当米山、が8月、9月中に何回か打ち合わせを重ね、報告書の作成を行った。

<問題点>

作業レベル：全学的（各部署）な協力がないと作業が行えない。年度により担当者が変わればその表記もかわるため、まとめるだけで相当の労力が費やすことになった。

資料レベル：大学院や特別入試についてまで手がまわらなかった。

分析レベル：独善的な読み方をしてしまう。入学と卒業の結びつきなど分析できていない。